

平成 28 年度福島県理学療法士会総会開催される

～事業報告・計画について協議 研修会、新入会員オリエンテーションでも活発な質疑～

2017年4月16日（日）、福島県男女共生センター（二本松市）で、平成28年度福島県理学療法士会総会が開催されました。当日の参加者は302名（委任状741）となり、当県士会としては過去最も多い参加者数となりました。総会では、冒頭で山口和之当県士会会長は「未来を考えた時に、私たち理学療法士が、地域の中でどれだけ活躍できるかが大切だ。専門職集団として自分だけではなく、職場あるいは福島県全体でベースアップできるよう努力していく必要がある」と参加者らに述べました。また同総会では平成28年度の事業報告と平成29年度の事業計画案について報告・協議が行われました。参加者からも積極的な質問が見られ、理事会および各部局、委員会、支部の代表者らと活発が討議となりました。今後の県士会の活動を進めていく上で課題や検討事項も共有され、充実した内容の総会となりました。

研修会では、テーマを「臨床現場でのアクティブ・ラーニング ～臨床実習のありかたと新人教育のインストラクショナル・デザイン～」と題して、講師に有馬慶美氏（看護リハビリ新潟保健医療専門学校 学校長）をお招きし、臨床実習において留意したい着目点や、実践上のポイントなどを包括的に分かりやすく説明頂きました。会場からも、実際に臨床実習に携わる会員から積極的な質問が見られました。新入会員オリエンテーションでは、約70名の参加者があり、県士会の組織全体の説明や、会員としての事務手続き、ならびに生涯学習の概要等について説明が行われました。緊張した面持ちの新入会員らは真剣に耳を傾けていました。

会報誌編集委員長 折内英則

